

魚梁瀬の東の川稜編線



古木
ツギナグミ足跡
2018.4.22

指定樹齢
800年

ツギナグミ

お化け杉
500mの看板

明もめよし
魚梁瀬へ太平洋

番所では、盗伐などの警備や
管理を行っていた。
(元禄年間(1688~1703))

魚梁瀬は工佐十宝山の随一で
阿波との国境に八折の断崖を
設け、足輕二名が常駐した。
中川と東川の分岐点に番所が
あり、番所の太杉があった。
村人がこの近くで山姥に感
わられ道に迷った。この
杉を「お化け杉」と
呼ぶようになった。

雁巻山
登山口

旧魚梁瀬森林鉄道は
2016年12月、文化庁の
日本遺産に認定。

東川線の敷設は
1930年(昭和5年)。
1962年(昭和37年)に撤去。

柴炭林道

林鉄はガタンゴトンと
ましむ音を立てながら
魚梁瀬まで満載し
沿線に住む人々の
生活の足として活躍
していた。

コシアブラ
「煮し油」ウコギ科落葉喬木。
あくも強くなく、うまみ、
甘くて酸っぱい風味。
金漆(ゴンゼリ)の木の
別名もあり、樹脂を精製
して塗料に使われ、一種の
ウレタンとされる。

魚梁瀬より
10.5km
ゲート

深い深い魚梁瀬の森の奥に
ぽつんと立っている大木がある。
その樹干は幹にさびていると
狐の迫力と力強さと同じ
孤独という哀れみが伝わり、
きこえぬような気がした。

もみいろと
若草色の春がきて
つららかな日々が
楽しくさびしく
(四季の色)

参考文献
・馬路村の巨樹、名木
・高知新聞記事

湯桶丸 1300m

針山へ湯桶丸
よく見える

指導標

深い斜面
天然林

根上がり大ヒキ

平坦で明るい尾根

魚13

急傾斜

小ヒキ

影五郎
1147.8m

スギ、ヒノキ
巨木群生

大岩
東川テラス
見はらし、日当良好

本地所の墓
工小40の川石を積み
重ねて平たい座石を
支え、その上に石塔を
立てて墓を形づくる。
墓を守るように
背後に天然杉を
残している。

看板

赤テ

人工林

谷

本地所の墓

林鉄遺構

魚梁瀬森林鉄道の
線路や枕木、ポイント
切替装置など残る

歩むにくい

魚12

急傾斜

気根の
はえている
樹もある

尾根には
スギやヒノキの
大木が点在する

影五郎山林道46支線

シカも7匹

影五郎山林道

国有林

行くか迷った

アセビ
群生

食田丸が見える

歩道あり

スギ林

食田丸まで
アップダウン

大石小石リンドル

魚10

民が泊まった小舎への生活
用品は高知側には安田の人下
が、男は足輕で、女は人下
頭に重い荷物とをのせて、木の根で
こま、岩をよじのぼり、険しい
山道を歩いていたという。
米、塩、酒、干物、塩魚、梅干
など重いものが60kgもあったという。

東洋のルソー、自由民権の思想家で、学者中江兆民。
明治21年(1888)夏、仙学塾の門弟 山崎保太郎
(高知人)(初代馬路村長)に誘われて、海部の御
より 食田丸を越えて、シバコ山(紫雲山?)にある
保太郎の父、唯次が所有する小舎に泊まり
魚梁瀬へ着いた。
この旅は随筆「阿土紀行」に記されている。
魚大好き。酒も大好き。方々、地方の料理も大好き。
西遊中、途中でシバコ山におひかれ、雨に降られ、官憲
に尾行され、やるとどついたら魚梁瀬で、大好きなアツ
を毎日あつて食べて、お祭りだ、という。
政治家、鋭い批判と連ねながら、人間的に、
中江兆民の姿がうかがえる。

徳島側の
深い谷へ望

魚13

急傾斜

小ヒキ

影五郎
1147.8m

スギ、ヒノキ
巨木群生

大岩
東川テラス
見はらし、日当良好

不明瞭
GPSで確認

魚12

急傾斜

気根の
はえている
樹もある

尾根には
スギやヒノキの
大木が点在する

影五郎山林道46支線

シカも7匹

影五郎山林道

国有林

行くか迷った

アセビ
群生

食田丸が見える

歩道あり

スギ林

食田丸まで
アップダウン

大石小石リンドル

民が泊まった小舎への生活
用品は高知側には安田の人下
が、男は足輕で、女は人下
頭に重い荷物とをのせて、木の根で
こま、岩をよじのぼり、険しい
山道を歩いていたという。
米、塩、酒、干物、塩魚、梅干
など重いものが60kgもあったという。

東洋のルソー、自由民権の思想家で、学者中江兆民。
明治21年(1888)夏、仙学塾の門弟 山崎保太郎
(高知人)(初代馬路村長)に誘われて、海部の御
より 食田丸を越えて、シバコ山(紫雲山?)にある
保太郎の父、唯次が所有する小舎に泊まり
魚梁瀬へ着いた。
この旅は随筆「阿土紀行」に記されている。
魚大好き。酒も大好き。方々、地方の料理も大好き。
西遊中、途中でシバコ山におひかれ、雨に降られ、官憲
に尾行され、やるとどついたら魚梁瀬で、大好きなアツ
を毎日あつて食べて、お祭りだ、という。
政治家、鋭い批判と連ねながら、人間的に、
中江兆民の姿がうかがえる。